

青葉 SPLASH



RANKOU

3P

男×女×男

DOJIN

R18

成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



サマーシーズン到来!!
青葉は友達と3人で
海に来ました!!
休暇を楽しむぞお!!





これは…
エッチ中の
恋人さんだー!!!

うっわ〜…

青葉の記者魂
案外バカに
出来ませんね…

ははっ…

わ〜…

ヒキ

ヒキ

ヒキ

ヒキ

ヒキ

ヒキ

ねねえ?
帰ろ…?

青葉が悪い
んだからな

やっ…
いやっ…

はう〜…

一旦落ち着いて
冷静になって…
き聞いている?

えっ あっ
いや
あの…ねえ?

ま〜…君も男だし?
盛り上がっちゃう気持ちも
分かると思うか…
そりゃラッキースケベで
気分も上がるだろうけど?

でもその場のノリで
こういうことすると
後でお互い
気まずくなると思うか…

あっ…あ〜

確かになにかあったけど
見つかったらまずいから
帰ろっか…?

青葉…

おっおい…?





これ以上
しちゃったら
もう元の関係に
戻れないよ…?



ヒキ

ねえ…
もうやめよ…?

ヒキ

スルルル…

なんだこのケツ
湿度が高すぎる…



上等だよ…
そしたら恋人だ



ひっ…

これから
恋人らしいことを
しようぜ



挿入っ…

よっ…

はっ

いくぞ…

お…おお…



もう少し
脚開いて
力抜けよ



ほら先っぽ
当たってるぜ

んっ
んっ

んっ

んっ



おおお...

挿入...った!!

アッ

ヒン

っああ...!!

入ってること丸見えじゃん

入ったときに入ったって言う人初めて見た

はあっ

はあっ

でもお前のチンポは邪魔だな

うるせw



ああ...俺いますっげー感動してる...青葉とセックス出来るなんて...

慣れるまでゆっくり動こうと思ったけどそんな余裕ねえわ...腰が勝手に動いちゃう

って言うか俺も興奮してもう我慢できないよ

へあっ...

だめ...

んっ!!

んっ!!

俺のもしやぶってよ俺だって青葉のこといいと思ってたんだ...

普段は勇気が出ないけど今なら言える





舌もっと動かしてよ

あ〜〜そうそう竿全体をね♡



ほんととろけちゃいそうだよっ…!!

こんな…こんなエロい口してっ…!! 道理でご飯を頬張る姿がエロいわけだよなあ青葉!!



あああああ♡ 先っちょよ 吸って吸って おほおほ♡



へへっしゃぶりながら 愛液だらだら垂らしまくっても 説得力ねーぜっ



おっぱいが肌に 吸い付いてくるみたいだ… 乳首もコリコリ♡

わたしはこう云う話の中に いつか彼女の乳首の大きくなり出したのに気づいていた。

それはちようど キヤベツの芽の ほぐれかかったのに 近いものだった。

わたしは勿論 くだんのように 一心にブラツシユを 動かしつづけた。



あ おっぱい触ってたら いっぱい唾液出てきたよ

が、彼女の乳首に そのまた気味の悪い美しさに 妙にこだわらずにはいられなかった。

あー気持ちいい♡ 青葉も気持ちいいんだね

き…っ きもひよく なんかない…っ

突然豹変した友人に上から下から貴かれ 激しく掻き回され混濁としながらも 陰茎の更に膨らむ音が聞こえ 射精直前なのだと妙に冷静に直感した



あついくつ
いくつ!!
いくぞオラッ!!

中出しだぞっ
中でいくからなっ!!

えっ!? やだあつ
やだやだっ!!

抜いてっ

無理無理こんな
気持ちいいのに急に
抜くなんてそんなの拷問
って言うかも出てる

あゝいくいくいく
あつあつあつ
ああ~~~~



ふうふう出た出た
これだけ出ると
感動的でさえあるね

はあ...

はあ...

駄菓子屋で売ってる
ぶりぶりゆした食感の
変な長い棒に入った
蒟蒻ゼリーみたいな感じ...



あつあつあつ
飲んで飲んでっ

はあっはあっ
まだいっばい
濃いの出るよっ

濃すぎて
ちよっと引く...

熱う...い...



気持ちよすぎて
ゼリーみたいのが
出ちゃった...

うええ...
硬くてイガイイ
喉通らないよ



あつあつ...

射精止まんねえ...

精液を絞り尽くす
魔性のエロ膣だな...

ああつ...
膣で出てる...

さして選手交替だ
今度はお掃除フェラでも
してもらおうかな

何故こうなつて
しまったのか？
考えてももう遅い
好奇心は猫を殺すのだ

じゃあ次俺っ
俺がまんこねっ

はあ…っ

はあ…っ

はあ…っ

さつきまで友人だった面影はなく
もはや青葉の前にいるのは
快楽を貪るだけのただの陰獣だ
いやむしろ友だと思っていたのは
こちらだけで、元より彼らの狙いは
青葉の身体だったのかもしれない

なんでえ…？
なんでこんなひどい
ことするのお…？

友達だと
思ってたのに…

うう…っ
う…

元はと言えば
こんなエロい身体して
無自覚に密着してくる
青葉が悪いんだぞ

射精したばかりなのに
こんなにバッキバキ
じっとりチンポ見た
感想はどうよ？

ちょっと
皮が余り気味…

うるせえよ

ねえもうやめよ…？
かにすけも見てるよ…

かにすけ
いいからっ



ほら
こうすると
もう一個
空いてる穴が
あるよな

えっ!?

あっ

まさか...
やだやだやだあ

ギョッ



安心しろよ
綺麗なピンク色
してるし
いい臭いだぜ?

いやあ...っ
嗅がないで
よわ...



お!!



う...
ああ...

ヌルッ
ヌルッ



青葉サンドイッチの
完成♪

お!!

お!!
お!!
お!!

くっ...
苦...

はあ...
あ...

うわ...
中から押されてる



直腸がそのまま
まんこに繋がってんじゃ
ねえかってぐらい
気持ちいいわ…っ!!

くっ…
ずっといい尻してると
思ってたけど
いざ使ってみると
やっぱ半端ねえな…



腸内の粘土
高すぎだろ
吸着力すげえ

んっ…
上の口も凄いよ
唾液がドロドロして
愛液みたいだ

ほら
抜こうとしても
引っ付いてくるぜ
何考えてんだ
このケツ



んむっ…
青葉の口の中
おいしー♥

初めてで二本挿しとか
すげー経験だよな青葉
記事に出来るんじゃね?

まあ普通は
二本挿しなんか
したくないけどさw

俺は興味
あったよ

さつきから
お前の怖い二
見てる気がする

あゝ下の口もめっちゃい
青葉の中でチンポが
擦れ合ってるの伝わる…

デジャブを
感じる…

ホキ



俺女性化乳房症で乳首が性感帯なんよ

なにお前乳首で感じんの？

青葉っ乳首っ乳首舐めてっ

ああーそうそう吸って吸って吸って...

うああ凄い...っ吸い付いてくる...

うんその情報要らない



ばーかすぐいったら勿体ないだろ

ああもう体勢変えるか次は俺が前でお前が後ろだ

また？止まってばっかでいくにいけないよ

はあっ

はあっ

はっ



ふえっ...女性化乳房症...？

やめろよ青葉が興味示しちゃってるじゃん!!

最後の一滴まで
しっかり中で出して
やるからな…

コッ
コッ
コッ

コッ
コッ
コッ

ク
ク
ク

ク
ク
ク

あー気持ちよかった
汗もかいたし
ひと泳ぎするか

え〜っ？
俺もっかい
やりたいよ

俺まんで
イってないし

マジかよ
じゃあ俺はまた
口使おうかな

気持ちいい…♡

青葉も勿論
賛成だよな？

セックスって…

はっ

はっ

はっ

はっ

本編に入れられなかったけど大好きなシチュエーションです。
まあこの後こんな感じで三人は楽しんでました的な感じで。



あとがきに似せた散文詩

久しぶりにあとがきを書きます沢村青です。

『青葉SPLASH』を手にとっていただきありがとうございます。

今回は男友達との3Pという非常にシンプルなエロ漫画にしてみました。

話がシンプルな分、身体のエロさやエッチな表現に拘ってみましたが無理ではなかったでしょうか。

男多数の乱交物が大好きでよく描くのですが乱交は構図と作画が難しいですね。

「三人旅の一人乞食」という慣用句にもある通り三人だと一人が仲間はずれになりがちなんですよ。

この本でもそうならないよう気をつけたのですが男と男のやり取りが多かったですね。

ホモですか…。

ところで近作の執筆にあたって液タブの保護フィルムをマットタイプに替えました。

描き味は非常に上がって執筆ペースが物凄く上がったのですが、その代わり筆圧が今までのフィルムとかなり変わってしまいました。

自分は陰毛を描くのが好きで絵を描いているのですが、

今回の陰毛はそういう事情もあって完全に納得出来ていません。

次までに陰毛の作画用にペンの設定を調整しておくので陰毛好きの方はご期待ください。

また今回は過去の発行作品からのセルフパロディが多めです。

読んだことがある方は笑ってください。

かにすけはシカのひづめさんの『拝啓暑い日が続きますが今日も青葉は元気です。』から拝借しました。

シカのひづめのシカジマさんが描く青葉ちゃんは非常に可愛くて嗜虐心がそそられます。

こちらも併せてお読みいただくとかにすけがより一層楽しんでいただけたと思います。

ところで自分は基本的にエロシーンしか描きたくない学派の人間なので

苦手な導入部は後回しにしてしまいメ切直前に修羅場になることがよくあります。

今回も最初の3ページを最後に回してしまい案の定徹夜で仕上げるハメになってしまったのですが、

気が付いたらネームにいなかった深海浮き輪が登場して次のページで流されていました。

そういう精神状態で描いたものなので「何あれ」というご質問はお控えいただければ幸いです。

では最後に一句詠んであとがきに代えさせていただきます。

閑さや

ケツに染み入る

喘ぎ声

『青葉SPLASH』

